

## 会長を辞して

日本大学理工学部 建築学科 教授  
池田 耕一

私、池田耕一は、30年以上勤務いたしました国立保健医療科学院を今年の3月末で辞しまして、4月1日からは、日本大学理工学部建築学科に、前任者の早川眞先生の後任として勤務しております。このような機会をお与え下さった、同学部の教授井上勝夫先生はじめ日大の関係者の方々には感謝いっぱいの気持ちで、何とか少しでもお役にたてればという気持ちで日々過ごしております。

しかしながら、何分今までは、教育というよりは研究が主の職場で働いておりましたので、大勢の学生さんなどの若い人に囲まれ仕事することに戸惑っております。何もかもが目新しいことばかりで、あっという間に時が流れて行きます。貢献するというのには程遠い状態です。

転職の影響が強すぎるためか、昨年12月で、本学会の会長を辞したことが、極めてお遠いことのように思っております。本学会の創設者の柳沢先生からの後を受けて、一生懸命やってまいりましたが、あっという間の2年間でした。

幸い役員の皆様が、とても熱心な方で、私のような未熟者の会長をうまく支えてくださったため、大きな破たんを起こすことなく無事1期を過ごすことができましたため、もう1期と思ったのが、調子に乗りすぎと言いましょうか、小野先生にしっかりと目を覚まさせていただきました。

私自身が会長在職中に意図して本学会を一定の方向に持っていこうなどという大それたことは致しませんが、本学会も創設のころと比べ、微生物関係の方が活躍されるようになり、化学物質による空気汚染問題一辺倒ともいえた本学会の幅が広がってきたようでとても好ましく思っておりました。今後は、空気だけでなく、音環境、光環境、熱環境なども含む本当の意味での室内環境問題を研究する学会に少しでも近づけたらよいのと思っておりますので、小野先生には、ぜひより多くの人に開かれた学会となるようご尽力いただければと思っております。先生ならば、きっとよりよい方向に導いていただけるものと確信しております。

最後に、副会長・事務局長をはじめ役員として私を支えてくださった、皆様に感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。